

<授業研究3>自分の考えを意見文にまとめよう（論理国語 読むこと）

1 研究の背景

「論理国語」における「読むこと」の指導では、「根拠や論拠を批判的に検討し」たり、「文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め」たりするなどの指導事項が示されている。本研究では、それらを踏まえ、「自分の考えを深める」ことを目標に、教科書の内容を題材にして、タブレット端末等を用いてさまざまな資料を調べ、自分の考えを意見文にまとめるという実践を行った。

また、生徒が書いた意見文をパフォーマンス課題と捉え、自分の意見が深まったかどうかを「読むこと」の評価で判断するとともに、調べ学習の取組と振り返りから「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行った。評価にはICTを活用し、調べ学習を「調べた数」で評価したり、アンケート機能を用いて提出させ集計したりすることで、より客観的かつ簡易的な評価ができるかを試みた。

2 単元の目標

- (1) 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕 (1) ウ
- (2) 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 B (1) カ
- (3) 言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

3 指導と評価の計画

科目名	論理国語	学年類型	3年	単位数	2単位	話すこと 聞くこと	
単元名	本文から考えられる課題に対して、自分の考えを意見文にまとめよう					書くこと	
教材	阿部潔「スポーツとナショナリズム」					読むこと	○
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。(1)ウ		「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B読むこと(1)カ)		筆者の主張や本文の内容を理解し、与えられた新たな課題に対して自分の考えを意見文にまとめる活動を通して、積極的にさまざまな資料を調べたり、自分の考えを広げたり深めたりしながら自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
本文の内容から考えられる問題についてさまざまな資料を調べ、自分の考えを意見文にまとめる活動							
時間	授業のねらい・学習活動			重点項目			評価方法
				知	思	態	

1	<p>本文の主題（「ナショナリズム」）について理解する。</p> <p>①本文を第4段落まで音読する。</p> <p>②国語辞典等を用いて、「ナショナリズム」とは何か理解する。</p> <p>③「ナショナリズム」について辞書の意味と本文の表現を関連付けて理解する。</p> <p>④現代のナショナリズムの特徴を把握する。</p>	○			・記述の点検 (ワークシートⅠ)
2	<p>表を用いて現在と過去のナショナリズムを比較する</p> <p>⑤本文を第5～6段落まで音読する。</p> <p>⑥本文にある2種類のナショナリズムを、表を用いて整理する。</p> <p>⑦整理された2種類のナショナリズムを比較して、その相違点を理解する。</p> <p>⑧筆者が取り上げた問題点を理解する。</p>	○			・記述の点検 (ワークシートⅠ)
3	<p>本文中の語の意味の類似性を理解して、内容を理解する</p> <p>⑨本文を第7段落から第9段落まで音読する。</p> <p>⑩「文明化」と「スポーツ」の共通点を整理する。</p> <p>⑪さらに展開（応用）をして、「文明化」と「スポーツを介したナショナリズム」の共通点を理解する。</p>	○			・記述の確認 (ワークシートⅡ)
4	<p>現代のナショナリズムの問題と筆者の主張(必要な対応)を理解する</p> <p>⑫本文を第10段落から最後まで音読する。</p> <p>⑬現代のナショナリズムが抱える課題とその原因を理解する。</p> <p>⑭筆者の主張(現代に生きる我々に必要な対応)を理解する。</p>		○		・記述の確認 (ワークシートⅡ)
5	<p>本文における現代のナショナリズムの問題について意見文を書く</p> <p>⑮今日の目標を確認し、意見文の書き方を知る。</p> <p>⑯与えられた問題に対して自分の考えをまとめる。</p> <p>⑰自分の意見を深めるため、タブレット端末等でさまざまな情報を調べて、他者の意見を参考にしながら自分の意見を明確にする。</p> <p>⑱意見文を完成させる。</p>		◎	◎	・記述の分析 (意見文)
6	<p>相互評価を通じて、自分の意見の参考になる他者の意見をまとめる</p> <p>⑲生徒相互で意見文を読み合う。</p> <p>⑳相互評価表から互いに本文の内容（「現代のナショナリズム」の意味）を理解しており、自分の考えが深められた意見文になっているか確認する。</p> <p>㉑相互評価を通じて自分の意見の参考になる意見をまとめる。</p> <p>㉒授業の振り返りを行う。</p>		◎	◎	・記述の分析 (意見のまとめ及び振り返り)
	㉓定期考査	◎	◎		・定期考査

※重点項目の欄について、指導に生かす評価には「○」を、記録に残す評価には「◎」を付す。

ルーブリック

	A	B	C
思考・判断・表現	「ナショナリズム」の意味を正確に理解して、意見文において使いこなしており、さらに、課題に対してさまざまな資料から得たさまざまな解釈や価値観などを本文の内容と結び付けて、自分の意見を深めている。	「ナショナリズム」の意味を理解しており、また、課題に対してさまざまな資料から得た考え方と本文の内容を結び付けて自分の意見をまとめている。	「ナショナリズム」の意味を理解しており、課題に対する資料から得た考え方を参考にして意見をまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	①調べ学習時に、四つ以上のサイトで自分の意見の論拠となる必要な知識や物事の捉え方を得ようと努めた。【粘り強く取り組もうとする側面】 ②相互評価を通じて、他者の意見の参考になる点を積極的に見つけ、自分の考えを深めようとした。【自らの学習を調整しようとする側面】	①調べ学習時に、二つ以上のサイトから自分の意見の論拠となるような必要な知識等を得ようと努めた。 ②相互評価を通じて、他者の意見の中から自分の意見の参考になる点を積極的に見つけようとした。	①調べ学習時に、一つ以上のサイトから自分の意見の参考となるような必要な知識等を得ようと努めた。 ②相互評価を通じて、他者の意見の中から自分の意見の参考になる点を見つけようとした。

4 学習活動の実際

生徒にとって意見文の課題設定がやや難しかったようで、自分の意見を考えるという段階で困った生徒もいた。このような生徒には随時助言をしながら授業を進めていった。ただ、自分で課題にしっかりと取り組めた生徒もおり、平易な課題の方が上手くいったということでもないと思う。各校の生徒の力や実情に合わせて、言語活動に至る過程をしっかりと考えておくことが重要だろう。

また、調べ学習でインターネットを活用したことはあるが、タブレット端末を使って振り返りを提出させるようなICTの活用は初めてだったため、最初のうちは生徒も戸惑いながらの授業であった。しかし、一度使い方を理解すると生徒の方も上手くタブレット端末を活用して進めることができた。教員も生徒も慣れる必要はあるが、慣れてしまえば授業の円滑な展開は期待できるように感じた。

5 評価の実際

(1) 「読むこと」の評価について

今回の研究では、「読むこと」の観点から「意見文を書く」というパフォーマンス課題で評価した。そもそも「書くこと」ではなく「読むこと」の能力の育成を授業のねらいとして考え、最終的に言語活動として意見文を書くことによって自分の考えを深めるという目標につなげていくことを意識したため、大きな問題はなかったかと思う。評価に要する時間もそれほどかからなかった。しかし、欠席者や課題の趣旨を正しく捉えられなかった者がいたため、C評価の割合が高くなってしまった。

(2) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

粘り強い取組を行おうとする側面については、調べたサイトのURLなどをタブレット端末でスタディサプリ（株式会社リクルートマーケティングパートナーズ、以下「スタディサプリ」と表記）のアンケート機能を用いて提出させ、生徒が意見を深めるために調べたサイトの個数で評価した。提出後は調べたサイト数をエクセルファイルにそのまま集約して評価したので非常に平易に評価すること

ができた。

また、自らの学習を調整しようとする側面についてもタブレット端末でスタディサプリのアンケート機能を用いて提出させた。エクセルファイルで一覧になった状態で振り返りを読むことができたため、非常に容易に評価できた印象である。

6 研究の成果と課題

(1) 「パフォーマンス課題」について

実際の取組から考えると、「どのような」パフォーマンス課題なのかよりも、「どのような過程で」「どのような指示で」パフォーマンス課題を行うかの方が重要で、それによって同じパフォーマンス課題でもその効果は大きく異なると感じた。そう考えると、今回の取組をより効果的にしていくならば、例えば、この単元より前に「書くこと」の観点で「意見文を書く」パフォーマンス課題に取り組み、意見文を書く能力を身に付けている状態で今回のような課題に取り組むとよいだろう。授業の実践を振り返る中で、段階的な能力の積み上げを視野に入れるべきだったと感じる。

(2) 「読むこと」の評価について

B評価の基準をできるだけ客観的な判断ができるようにすることが肝要だと思われる。B評価の基準をしっかりと定めれば、その枠におさまらないものがおのずからAやC評価になる。今回、実際に評価をする際に悩んだのはこの点である。目標を生徒に伝えるという側面から考えても、評価をする際の手間暇を考えても、明確で客観的な指標が必要だと感じた。また、例えば一つの観点の中に幾つかの評価のポイントがある場合なら、「三つのポイントを全て満たしていればB評価とする」「三つのうち一つでもポイントを満たしていればB評価とする」というように、その評価のポイントをどのように評価の判断に反映させるのかについても、あらかじめ設定する必要があるだろう。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

今回、「主体的に学習に取り組む態度」の粘り強く取組もうとする側面を調べたサイトの個数で評価した。生徒の授業の取組状況も踏まえて考えれば、適切な評価ができたと感じる。また、観点別評価によって評価項目が増加したことを考えると、「適切かつ簡易な」評価方法が求められる。そういった点で評価におけるICT活用を含めて、一つの試みができたのはよかったと思う。一方で、自らの学習を調整しようとする側面については、生徒に目的・目標に沿ったより適切な振り返りをさせるべきだったという反省があった。今回の研究では細かい振り返りの指示をしなかったため、単元のねらいと外れている振り返りが多数出てしまった。単元の目標を設定し、その目標に対してどのように授業展開をして、どのような言語活動を行うのかを決定することを考えると、その授業のねらいに絞った振り返りをさせることが最も学習効果があると考えられる。さらに、ループリックにおいても、どのような振り返りを期待しているのか、あるいは、何を評価するのかが分かる表記にすることで、評価する側も評価しやすく、評価される側も適切な振り返りをすることができるだろう。

(4) 「振り返り」について

今回の研究において、パフォーマンス課題を取り組んだ後に振り返りをさせて、自分ができたことやまだ足りないことに加えて、これからの学習の展望についても言語化させた。この振り返りを他の幾つかの単元でも行うことで、生徒の中に自己反省と改善をする思考をもつ者が増えてきたように感じる。私自身もややもすると「主体的に学習に取り組む態度」の評価のために振り返りをさせるような意識になってしまいがちだが、「主体的に学習に取り組む態度」を育むことで、生徒が自分でPDCAサイクルを回せるようになり、その後の学習や生活がよりよいものになるというグランドデザイ

ンを教員が意識することが肝要である。

R4 第3学年 授業プリント③「スポーツとナショナリズム」

課題 次の質問について自分自身の意見を書け

目標 本文の内容とその他の観点や情報を結び付けて、自分の考えを深める

質問 あなたが考える、よりよいスポーツにおけるナショナリズムの在り方

ルーブリック

観 点	A	B	C
思考・判断・表現	「ナショナリズム」の意味を正確に理解して、意見文において使いこなしており、さらに、課題に対してさまざまな資料から得たさまざまな解釈や価値観などを本文の内容と結び付けて、自分の意見を深めている。	「ナショナリズム」の意味を理解しており、また、課題に対してさまざまな資料から得た考え方と本文の内容を結び付けて考えている。	「ナショナリズム」の意味を理解しており、課題に対する資料から得た考え方を参考に自分の意見をまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	①調べ学習時に、四つ以上のサイトで自分の意見の論拠となる必要な知識や物事の捉え方を得ようと努めた。 ②相互評価を通じて、他者の意見の中から自分の意見の参考になる点を積極的に見つけ、自分の考えを深めようとした。	①調べ学習時に、二つ以上のサイトから自分の意見の論拠となるような必要な知識等を得ようと努めた。 ②相互評価を通じて、他者の意見の中から自分の意見の参考になる点を積極的に見つけようと努めた。	①調べ学習時に、一つ以上のサイトから自分の意見の参考となるような必要な知識等を得ようと努めた。 ②相互評価を通じて、他者の意見の中から自分の意見の参考になる点を見つめようと努めた。

●意見文の書き方の例（構成）

①自分の意見を述べる

Ex) 「私は〜〜について、・・・(じつあるぐちだ・のちよう)と思っています。」

②自分の意見の根拠を説明する

Ex) 「それは、〜〜を考えると自分からやると思っています。例えば、・・・」
「それは、・・・という事案があるからです。」

③もう一度、自分の意見を述べる

Ex) 「以上のことから、私は〜〜について、・・・(じつあるぐちだ・のちよう)と思っています。」

() 組 () 種 名詞 ()

① 教科書、自分の考えを書いてみよう (調べない・教科書を見るのはＯＫ)

② ヲノマーチについて調べた情報 (聴取のレポートや参考にできるもの) を調べよう

(A) 調べた内容をシートに

(B) 自分の聴取の参考になった情報

(C) 自分の聴取の根拠の参考になった情報

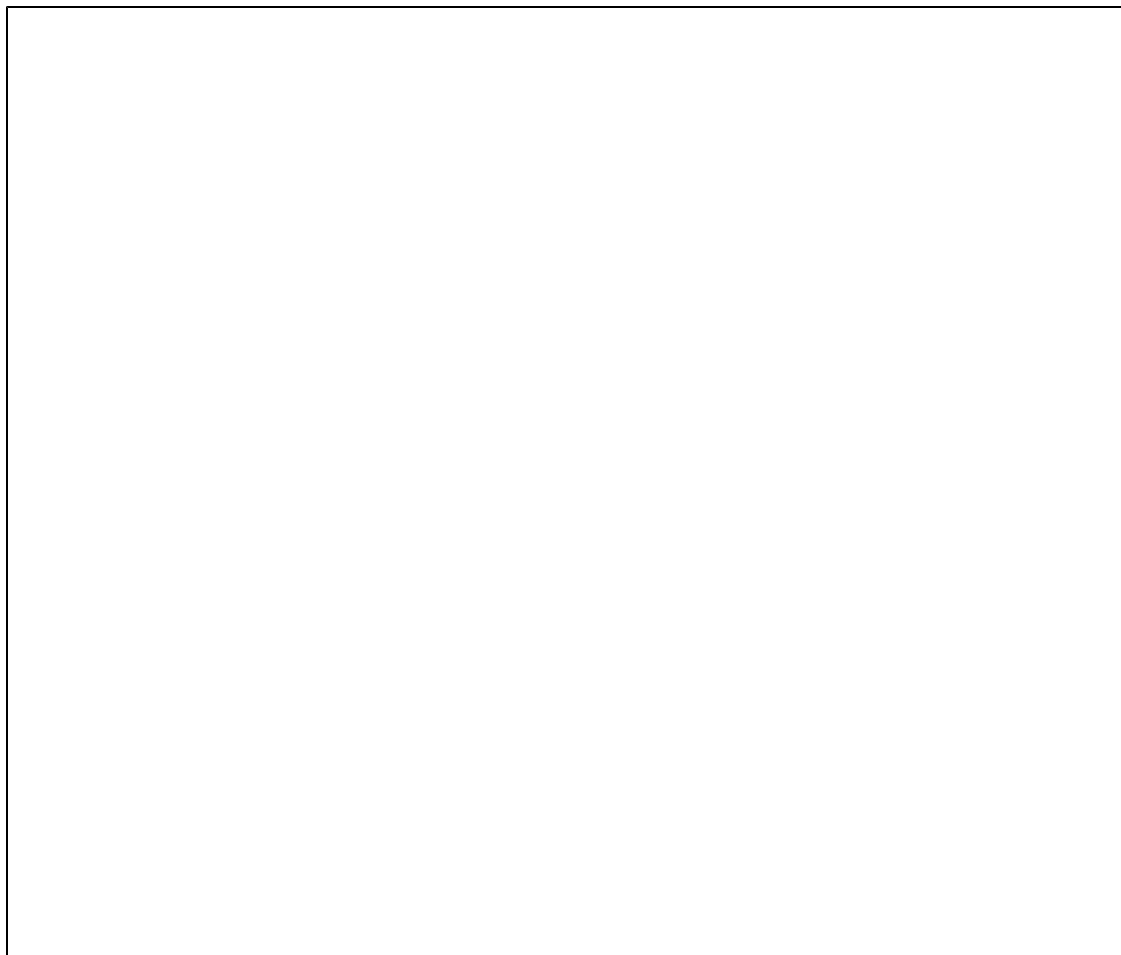
★(B)と(C)については、「スマイルクラブ」のアンケートにある、『現代文の「スポーツ」について』の調べた情報に書いて提出しよう。

★シートに記入するときは、調べた内容に加えて、「調べた数」も書き添えて、『①～③』のようにならぬように調べた数に内容の数が分かるように書いていよう。

★調べた内容を「〇〇」も書いていよう。

R4 第3学年 授業のポイント④「ポスターセッション」

③調べた内容を踏まえて聴取文を書きしめよう



④周りの人と聴取文を読み合ってから評価しよう

【やり方】

- 周りの人とお互いの聴取文を読み合い、裏面にある枠に「よし系」と「改善系」を書きしめよう
- 「改善系」については、「既によしだし」になっているかどうかわからないかを書きしめよう

【評価のポイント】 ※ 表面の「シートワーク」を参考にしよう。

- 「よし系」の意味を正確に理解して、聴取文に添った感じになっているかわからないか。
- 評価に対してそれぞれまた資料から得たそれぞれを翻訳や想像などして本文の区際を結び付けて、自分の聴取を添った聴取文になっているか。

● 周りの人の意見文を読んだつもりで、「もしも」や「改善案」を書いてもらう

【名前】	【もしも】
	【改善案】

【名前】	【もしも】
	【改善案】

【名前】	【もしも】
	【改善案】

【名前】	【もしも】
	【改善案】

◎ 周りの人の意見を読んだ、自分にはなかった考えや新しい捉え方の参考になった考えを
書いて

(Ex) ・「この意見の10倍か、私は〜と感じました。」など

◎ 振り返り・書くだけ

★ ◎と◎について、 「スタイトイカワ」のブログにある、『現代文B「スポーツ
とタリウム」の振り返り指導法』に書いて提出します。

★ ルーブリックにあるように、 調べた内容や周りの人の意見から「自分の意見を深め
られたかどうかを中心に、書くだけ」を振り返りましょう。